

2009(平成21)年3月18日

館外講座だより3



今回は、かねてからの希望が多かった、関東平野東部唯一の独立峰、筑波山に登りました。関東平野という大きなスケールのなかで、東京低地にある葛飾との環境や風土の違いを再認識しました。

下山後、筑波研究学園都市にある国土地理院・地図と測量の科学館では、リアルタイムで更新される国土の姿を学び、筑波宇宙センターでは最先端の科学技術に触れることができました。

800メートルからの展望、大地の歴史、地球の尊さを体感できるツアーでした。

みなさんの一句から 天広く 霞ヶ浦に 霞立つ

■筑波山にて詠める・・・

岩に立ち かすむかなたの 香をさがす
 春がすみ 筑波の山並み シルエット
 筑波山 黄砂も降りて 春がすみ
 ものの芽に 元気もらった 筑波山
 筑波嶺に 啼鳥を聞く 日の樂し
 春うらら 筑波の花粉 体験し
 筑波嶺 望みし郷は 遠霞
 うぐいすの 声流れる峰や 歩ゆるむ
 快晴の 筑波山にて 深呼吸

■梅林

筑波嶺に 梅香に誘われ 四六騒ぐ
 筑波路を 友と語り合う 残り梅

■地図と測量の科学館

地図広げ 宇宙見つめる 筑波山
 古き代の 地図の上に 降り立ちて
 一人しのぶに 障るものなし

■筑波宇宙センター

かくやひめ 世界の国への あこがれと
 宇宙船 天空の夢 春の宵
 宇宙船 私の脳には 理解不能

TOUR DATA

時間	経過	所要時間
8:08	博物館出発	
8:21	四つ木 IC	
9:03	土浦北 IC	
9:43	神田屋駐車場	
10:20	ケーブル宮脇駅	
10:30	筑波山頂	170分
	昼食	
13:20	神田屋出発	
13:40	国土地理院	90分
15:20	筑波宇宙センター	50分
17:11	四つ木 IC	
18:25	博物館到着	
内山観光バス フェニックス号 ドライバー・寺嶋さん 走行距離：155 km		
応募 106 人、当日参加者 47 名		
参加費 1800 円、見学実費 920 円		



画 田口峯子さん

関東平野鳥瞰バスツアーにご参加いただきありがとうございました!



みなさんのアンケートから

■筑波山とその周辺



- 眺めるだけの筑波山から自分の足で立てた山に! (初参加)。
 - 男体山・女体山、共に頂上まで行けてよかった (初参加)。
 - 男体山・女体山に登れたのと梅林にも行けた (初参加)。
 - 男体山が意外ときつかった。
 - 男体山の頂上までの石道と斜面の急に驚きました。
女体山の岩盤の頂上はスリル満点、絶景でした。
 - 体力と相談して女体山にしか行かなかった。頂上からの望む関東平野の広さが実感できた。「ガマ石」と「セキレイ石」も見ることができた (初参加)。
 - 葛飾区立亀青小学校の校歌の一節「♪富士と筑波の山映えて・・♪」を思い出しました (初参加)。
 - のどかな山岳信仰に人々の願いや祈りを感じた。
 - 東京から意外と近かった。低かった。霞がかからない時期に出直します。
 - 午後から見通しがよくなり関東平野を鳥瞰できました。すごい!
特に目前のおいしい筑波米の田んぼのひろがり心豊か、うれしくなりました。
 - 奇石・怪石を見たけれどほとんど見る事ができなかった。
 - 住んでいるところが平地で歩きやすいのが感じられた。
 - 本日の天気感激。階段の多さにびっくり。
子供の頃登ったきり一度登って見たかったのでよい思い出。
- ※久しぶりのかたもずいぶんいました。



■地図と測量の科学館 (国土地理院)

- 自分の生まれた地名が古地図でみれて感激でした (初参加)。
- 新しい発見がたくさんありました (初参加)。
- 立体日本地図に感動 (初参加)。
- 貴重な資料の宝庫、時の経つのも忘れるほどでした (初参加)。
- 地図の測量や地震の測定など、これまで初めて見る。
説明員もわかりやすくて良かった (初参加)。
- 地図を原点とし様々な科学的研究と実証が行われていることを感じました (初参加)。
- 昔の伊能氏が測量した地図の正確さに驚き、彼が今生きていて技術を駆使できたらと思った。
科学の力は素晴らしい (初参加)。
- 現在の地図が航空写真によって作製されたり、地球温暖化の観測、地震などの重要な観測もされていることがわかった (初参加)。
- 時間があればもっとよかったが (初参加)。ほか多数



- 地図を持って (読んで)、ウォーキングに出かけようと思います。(初参加)。
- 平面と立体認識の違いの楽しさがわかって面白かった。
- もう一度、ゆっくりきます (面白かった)。
- 日本地図 (地球) の上に登って日本が広いと思った。
- 三角点から衛星を使っての測量の変遷、面白かった。
- 予備知識がなかったので説明を受けてもむずかしかったですが、これから地図を見るときにはこの日の見学を思い出します。

■JAXA/筑波宇宙センター

○今日は若田さんが「きぼう」に入った記念すべき日。管制センターとの交信シーンを見たかった（初参加）。若田さん関連ほか多数

●時あたかも日本人が宇宙ステーションでの長期滞在と重要役割を担っているところであり、非常に興味深く見学しました（初参加）。

●ロケットがみられなかったのが残念（初参加）。ほか多数。 →これでご勘弁ください!

●「きぼう」の船内実験室に入れ良かったです（初参加）。



○空を見上げる楽しみが増えた。

○アルミホイルに包まれた衛星にまずびっくり!!! でも断熱材を幾重にも貼り込み特殊

開発シートとの説明。軽くて寒熱対応に優秀なものとも。でも見た目の驚きが尾をひいてます。見学させていただいて本当によかった。宇宙のニュースもより楽しくみられます。

○宇宙は身近になったとはいえ、まだまだこわいところ。若田さんががんばれ!!!

○大きさが実感出来たのが収穫でした。ケータイを上手に使えないのに、ただスゴイ!!!でした。

○ロケットの金箔が男だか玩具っぽく、これが「本物?」と思ってしまいました。ソユーズのカプセル狭いですね。

○今、話題の場所でしたので、ちょっと自慢に思います。



2009. 2. 25 HII叩つ実機



筑波道 下方をのぞむ



筑波道石段

自由蘭/その他から・・・

●バス車中での歴史地理的なコメントが大変参考になりました（初参加）。

○雨天の下調べのおかげで、知らなかった事を多く教えて戴きました（初参加）。

○ツアーの人達の顔が解りませんので、何かリボンで目印があると挨拶できますが・・・（初参加）。

○個人的には計画はおそらく立ててない場所ばかりでしたので、新たな発見・世界を広げることができました。

■ツアー希望地：利根川下流、香取・鹿島方面、中世の城郭、土浦と霞ヶ浦
人の行かないマニアックなツアー

その他、多くのご意見ご感想をいただきました。ちなみに女性○、男性●です！ ご自分の記事おわかりになりますか？

ツアー後記

2009年2月25日の下見では、雨天・・・、ロープウェイも強風で止まり、ケーブルの先はなあんにも見えなかった筑波山頂でした。春霞の展望でしたが満足といたしましょう。ゆったり時間をとったので、ご満足戴いたご意見が多かったです。それでも国土地理院では、駆け足でしたね。葛飾から宇宙へ!? を体感できたダイナミックな1日だったでしょうか。また、元気でお目にかかれましてを楽しみにしています。



担当学芸員 橋本直子 博物館専門調査員 富澤達三 補助 山本 俊



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101 FAX 03(5680)0849